2019 HCF ロードレースポイント・カテゴリー要領

改正　平成29年11月27日
総務委員会ポイント部会

１．目的

北海道自転車競技連盟（以下「連盟」）、連盟支部団体が主催する公認大会、総務委員会ポイント部会（以下「委員会」）が認める競技大会の内、指定種目に参加した競技者にポイントを付与する。このポイントの累計を評価基準とし、走力・年齢等の均衡化を考慮したカテゴリー分けを行うことにより登録競技者の競技力と競争心の向上に寄与することを目的とする。

２．対象競技者及び対象競技

ポイント付与は、本連盟に登録した会員のみを対象とし、会員以外は対象としない。またポイントを付与する競技はロードレースとし、ロードレース以外の競技は対象外とする。

（基本的にポイント付与の対象カテゴリー・クラスは、S・J・J-L・M・C1・CLを対象とする。）

３．ポイント対象大会と大会別ポイントの決定

委員会は、大会の規模・内容・距離等により、大会基準（別表２）を設け、ポイントを付与する対象競技大会（別表３）を決定する。決定事項に変更があった場合は、大会開催要項等で周知する。　順位別に与えるポイントについては別表４による。

４．カテゴリー及びクラスの分類

(1) 分類

カテゴリー及びクラスは別表１のようにする。

(2) 初登録者の取り扱い

初登録者の内４０歳以下はS-４、４１歳以上はS-５、５５歳以上はMとする。また大学生は「カテゴリー変更・登録申請書」による申請によりS-３を選択可とする。なお会員外の選手も同様とする。

（小中学生・女子を除く）（＊年齢は登録年の１月１日現在の年齢とする）

(3) カテゴリー・クラスの変更

・Sカテゴリーの勝者は次の大会から１クラスアップする。
（会員外の選手も対象とする、ただしS２までとする）
・ランクアップした場合のポイントは０点からスタートする。
・ランクアップ以外でのシーズン途中のカテゴリー・クラスの変更は認めない。
・エリートの内４１歳以上はS-２への残留を、また年齢的にカテゴリーをSからMへ移行する際「カテゴリー・登録申請書」により前年カテゴリーへの残留を許可する。
・Lカテゴリーは「カテゴリー・登録申請書」によりSへのカテゴリー替えを可とする。
・JからSに移行する際、又はJカテゴリーの者の内、インターハイ、国体等の出場経験者はポイント改正委員会で検討し、技量・力量によりエリートまたはS2への移行も可とする。
・上記カテゴリー変更を希望する場合は、「カテゴリー・登録申請書」により申告するものとするが、カテゴリー変更の可否はポイント改正委員会で協議し決定する。

５．道外選手の取り扱い

HCF登録以外のJCF登録者（本州からの参加者）はエリートクラスの参加を可とする。

６．Sカテゴリーの定員

(1) Sカテゴリーの各クラスはSカテゴリーの１/５程度を定員とし、走力により振り分ける。

(2) 各クラスの入れ替えはシーズン終了後のポイントを参考に昇格は、上位１０名程度とする。降格はレース数とクラス毎のレース参加率を考慮し検討する。（別表５）ただし年度途中の優勝によるクラスアップ者は、降格の対象としない。

７．その他

その他、問題が生じたときはポイント改正委員会と理事長で協議し決定する。

別表

別表１　カテゴリー及びクラスの分類

男性54歳以下					高校生		女性	男性55歳以上	中学生		小学生		
最上級	上級	中級	初級41歳未満	初級41歳以上	男子	女子			男子	女子	高学年	中学年	低学年
S					J				C				
エリート	S-2	S-3	S-4	S-5	J	J-L	L	M	C-1	C-L	C-2	C-3	C-4

＊エリート選手はJCF登録必須

別表２　大会基準

大会クラス	優勝者付与ポイント	基準
A	150	国際・地域別大会及びその併催大会
B	120	100km 以上の大会
C	100	70km以上 100km 未　満の大会
D	80	RR70km 未満、HC、TT で 10km 以上の大会
E	60	CR・HC・TT で 10km 未満の大会

※基準内の距離はエリートのレースディスタンス

別表３　ポイント対象レース及び付与ポイント

大会名	優勝付与ポイント	大会クラス
道新杯	80	D
M'Moiwa　HC	60	E
モエレ沼　TT	60	E
留萌　HC	60	E
サロベツ 100　RR	120	B
Niseko　HC	80	D
Niseko　Classic RR	150	A
Niseko　Classic TT	60	E
札幌市民体育大会	80	D
ツール・ド・北海道市民大会	100	C

凡例　RR=ロードレース　TT＝タイムトライアル
HC＝ヒルクライム　CR＝クリテリウム

各大会において天候等の都合により距離設定が変更になった場合は見直しをする場合がある。

別表４順位ポイント割合（%）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11～20	21以下
割合	100	80	75	55	50	45	40	35	30	25	15	10

DNF (Did not　finish)は１ポイント　　DNS (Did　not start)はＯ．５ポイント

各順位のポイントは別表３を基に、順位により 別表４の割合とる

計算例　道新杯６位の場合　80ｘ45%＝３６ポイント

別表５

降格ライン計算例　（ポイント＝Ｐ）

大会名	○大会	□大会	●大会	■大会	△大会	▲大会	×大会	計 （平均）
優勝者Ｐ	80	100	80	100	150	100	150	
21位以下Ｐ	8	10	8	10	15 （除外）	10	15	61
完走率	80%	100%	80%	100%	35% （除外）	65%	55%	
参加率	45%	20%	45%	20%	47% （除外）	50	50%	（38.3%）

１） 全レース終了後、検討するクラスの年間レース参加率を確認
２）完走率50%未満のレースを除外し、21位以下のＰを合計
３） １）の数値に２）の数値を乗じて、算出された数値の±10Ｐを降格検討ラインとする。
４） ３）で求めた降格検討ラインの下限値以下を降格とする。ただしエリートについては、降格検討ライン内の選手から、年間を通して20位以内の成績がない者も降格対象とする。

参加率×21位以下Ｐ計＝38.3%×61＝23.4

計算結果より

（降格ライン）　23.4Ｐ－10Ｐ以下は降格とするため、13.4以下は降格。

（降格検討ライン）エリートの場合は上記に加え、±10Ｐの 13.4～33.4Ｐを獲得している選手のうち、全レースで 20 位以上の成績がない者も降格対象とする。